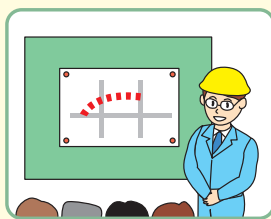


道路ができるまで

1 皆さんに道路計画の説明

基本計画の内容を地元の関係者の皆様に説明します。



6 用地測量・物件調査

関係者の皆様が立会のうえ境界を決めて、一筆毎の用地測量や物件を調査します。



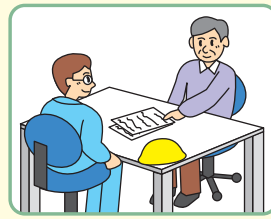
2 都市計画説明・環境影響評価

都市計画及び環境影響評価を関係者の皆様に説明し、意見をお聞きします。



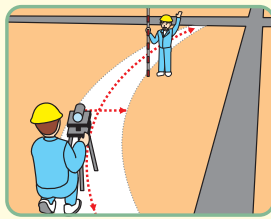
7 土地代や補償などを説明

関係者の皆様に用地の説明をします。



3 測量・地質調査

関係者の皆様の理解を得たうえで、測量及び地質等を調査して、現地の状況を把握します。



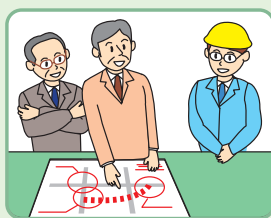
8 売買・補償・成立

契約調印のうえ、登記事務と補償金の支払いをします。



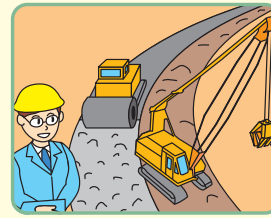
4 皆さんと設計協議

詳細設計図によって関係者の皆様と現地等において細部にわたって協議します。



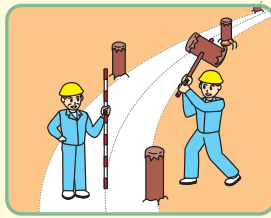
9 工事説明・工事

道路を作るには土を盛ったり、コンクリートや鉄を使って、強く丈夫で、しかも安くできるように工夫しています。



5 幅杭打設

設計協議が終了すると、協議事項に基づいて設計を修正して幅杭を打ちます。

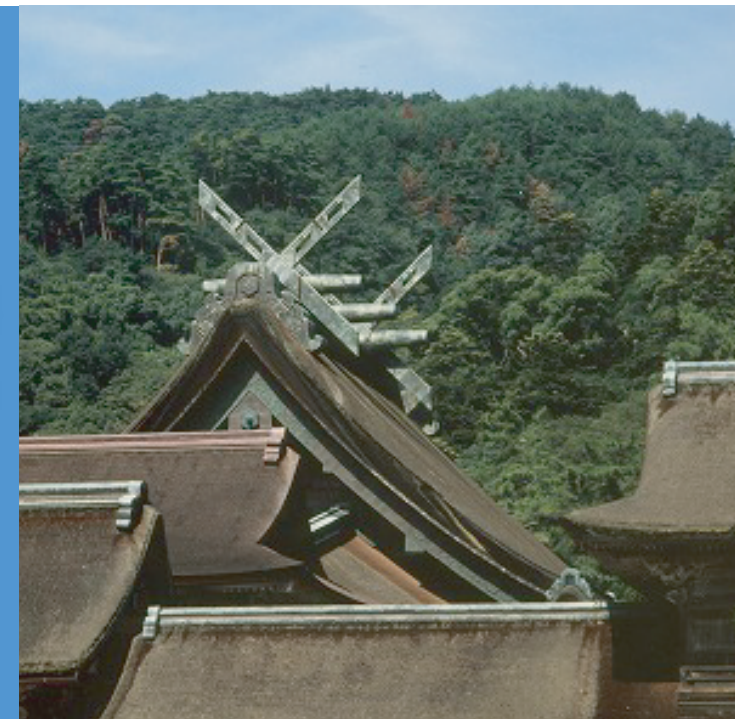


10 完成・開通



一般国道9号

出雲・湖陵 道路



国土交通省 松江国道事務所

一般国道9号

湖陵・多伎 道路



国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

〒690-0017 島根県松江市西津田2丁目6-28

TEL.(0852)26-2131(代表)/(0852)60-1345(計画課直通) FAX.(0852)22-9731

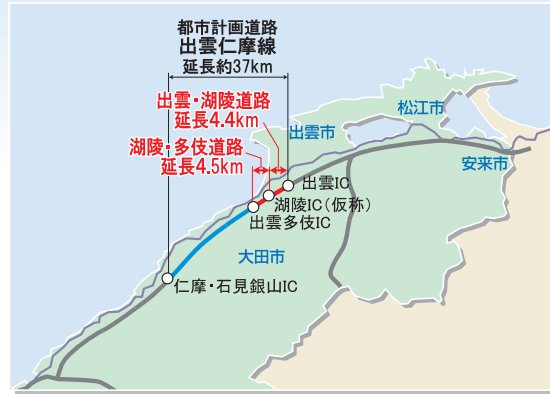
HPアドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

Twitter(ツイッター) http://twitter.com/road_matsue

一般国道9号

「出雲・湖陵道路」「湖陵・多伎道路」の事業概要

平成18年3月都市計画決定された都市計画道路出雲仁摩線延長約37kmのうち平成21年3月より出雲～湖陵間が「出雲・湖陵道路」として、平成24年度より湖陵～多伎間が「湖陵・多伎道路」として事業化になりました。



事業の目的

一般国道9号は島根県の東西を連絡する唯一の主要幹線道路ですが、当該区間の現道は、通過交通と生活交通が混在し、幹線道路として支障をきたしているうえ、一般国道9号の代替路線がなく、交通事故等の発生により、日常生活はもとより、地域の経済活動に多大な支障をきたしています。

また、出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路は、山陰自動車道（出雲IC以東）と島根県西部を連絡する高規格幹線道路の一翼を担う重要路線であり、出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路の整備により、交通障害の解消や安全で信頼性の高い道路網を構築し、地域経済の振興、救急医療の向上及び生活圏域の連携を促進することが期待されます。

計画の概要

出雲・湖陵道路

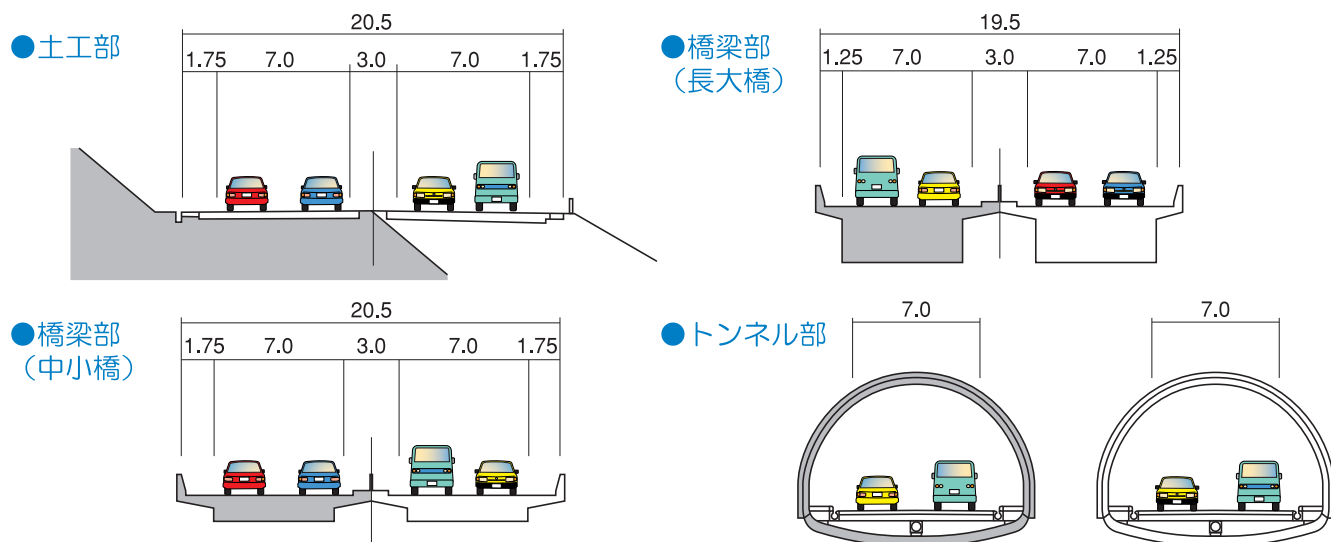
- 区間／
起点：島根県出雲市知井宮町
終点：島根県出雲市湖陵町三部
●延長／4.4km

湖陵・多伎道路

- 区間／
起点：島根県出雲市湖陵町三部
終点：島根県出雲市多伎町久村
●延長／4.5km

- 道路の規格／第1種第3級
- 設計速度／80km/h
- 車線数／4車線（暫定2車線）

標準的な断面図（単位：m）



出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路事業の取り組み

出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路は、「環境影響評価法」に基づく手続きを行った道路事業です。環境影響評価法にもとづき、周辺の生活環境や自然環境の保全について配慮するよう検討し、事業を行います。

■環境マネジメントの取り組み

1. 背景

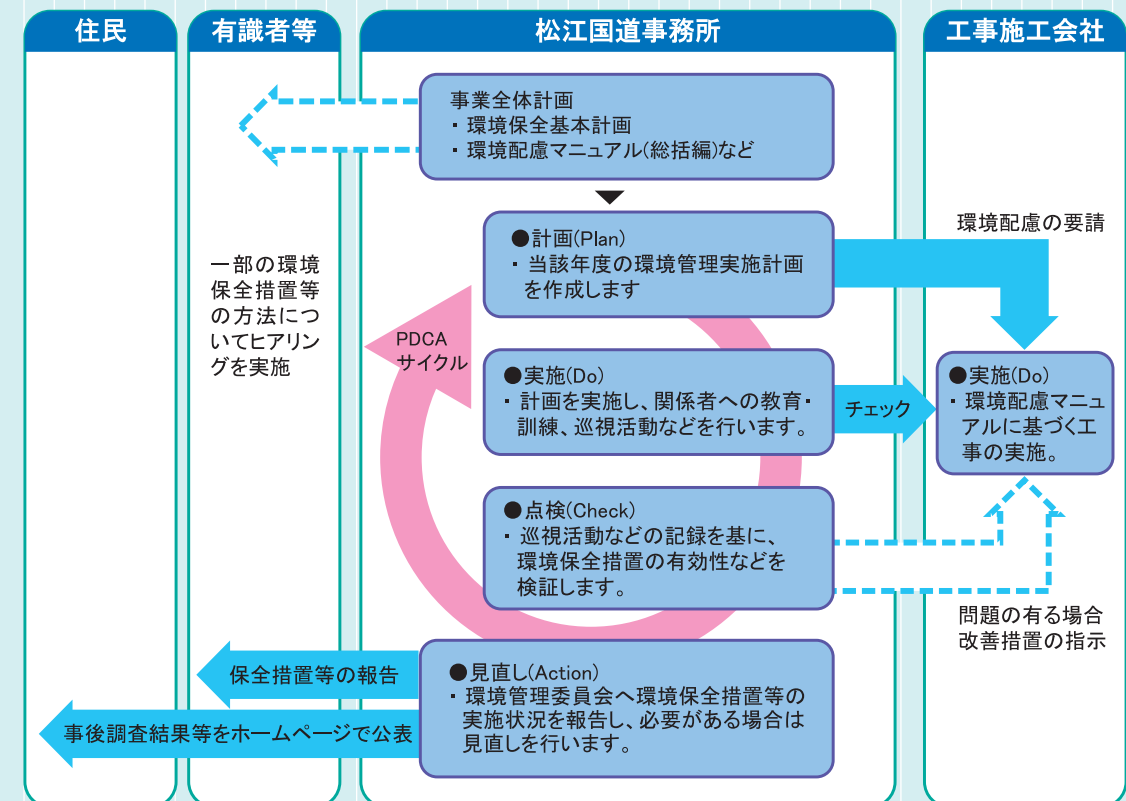
必要な環境保全措置は、円滑に実施されないと、工事の遅延や中断、極端な場合には計画の見直しが必要となってきます。このようなことがないように取り組みが求められています。

こうしたことから、松江国道事務所では、現場における環境保全措置の徹底などを目的として、出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路の「環境マネジメントシステム」（以下、「EMS」という。）を採用しています。

2. EMSの取り組み

EMSは、環境影響評価書に記載された環境保全措置などを工事工程に則して整理した環境保全基本計画を策定し、下図に示す*PDCAサイクルを繰り返すことで道路整備事業に伴う環境負荷を継続的に低減していきます。

EMSでは、事業に関わる担当部所、施工会社等の全関係者と保全対象などの情報を共有し、環境保全措置などを確実に実施していきます。また、事後調査の結果等をホームページ上で公表していきます。



情報の開示
事後調査結果等の公表

情報の共有
必要な環境保全措置等を確実に実施

- ※PDCAサイクル
- P 計画(Plan)
 - D 実施(Do)
 - C 点検(Check)
 - A 見直し(Action)

現在の道路状況

渋滞や事故が多発

この区間は、出雲市中心部に流入する区間であり、朝夕ピーク時には交通の流れが悪くなっています。また、交差点部や駐停車等への追突事故が多発し、事故車両による通行止めも発生しています。

死傷事故が多発

交差点部で交通事故が多発し、事故車両による通行止めも発生しています。



(大型車事故/出雲市大島町)

国道9号の渋滞

出雲市中心部へ流入する区間では、交通の流れが悪くなっています。



(渋滞する国道9号/出雲市大島町)

国道9号に依存している道路交通

現在、島根県の東西移動のほとんどが国道9号に依存した状況となっています。山陰道が整備されることにより、移動経路の選択肢が増え、移動時間の短縮が図られるだけでなく緊急時や災害時の代替道路としての機能が確保されます。

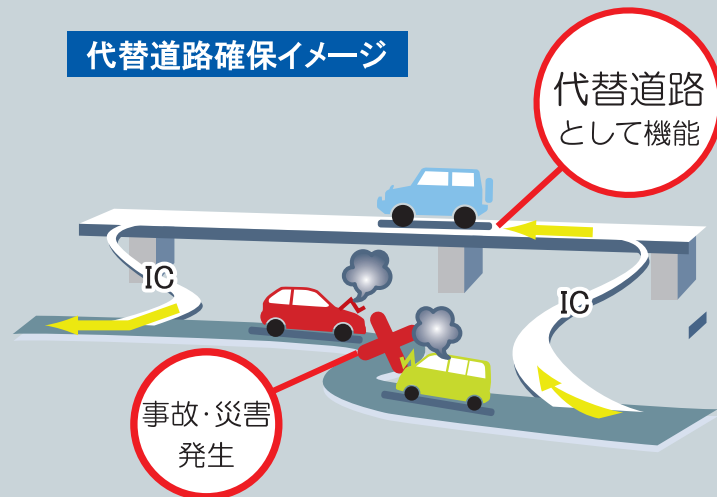
災害による通行止め

平成30年7月豪雨の際には、山陽自動車道や中国自動車道の通行止めに伴い、山陰道が迂回路として使用されましたが、山陰道が途切れている箇所では渋滞が発生しました。



(出雲IC付近の国道9号/H30.7.8)

代替道路確保イメージ



整備効果

交通事故の減少と渋滞の緩和が図られます

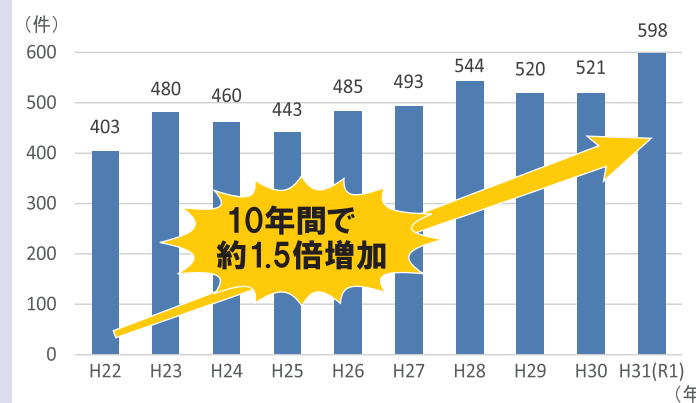
交通が出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路に転換することで、国道9号における交通事故の減少と渋滞の緩和が期待されます。



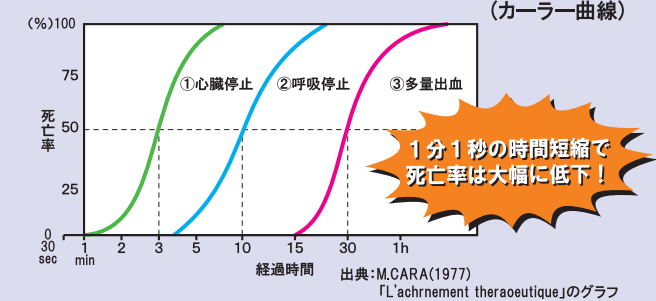
救急活動を支援します

出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路を利用することで、救急患者を迅速かつ安静に搬送することができ、救急医療活動が支援されます。

大田市から出雲市の三次救急医療機関への搬送件数



緊急事態における時間経過と死亡率の関係



緊急事態が重大であればあるほど、迅速かつ適切な処置をしなければ死亡率が増加します。

- 心臓停止後約 3分で50%死亡
- 呼吸停止後約 10分で50%死亡
- 多量出血後約 30分で50%死亡

活発な交流・連携や個性の発揮・経済活力の増進

出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路を含む高速道路が完成すると、県内都市間の移動時間は大幅に短縮し、日常生活圏の拡大、産業活動の活発化、観光振興などが期待されます。



出雲・湖陵道路／湖陵・多伎道路計画路線図



出雲～湖陵間、湖陵～多伎間の各地点（上図中の番号）から撮影した航空写真に計画路線を示したものです。



⑤ 出雲多伎ICから東を望む



④ 湖陵IC(仮称)から西を望む



③ 湖陵町常楽寺から西を望む



② 東神西町から西を望む



① 出雲ICから西を望む